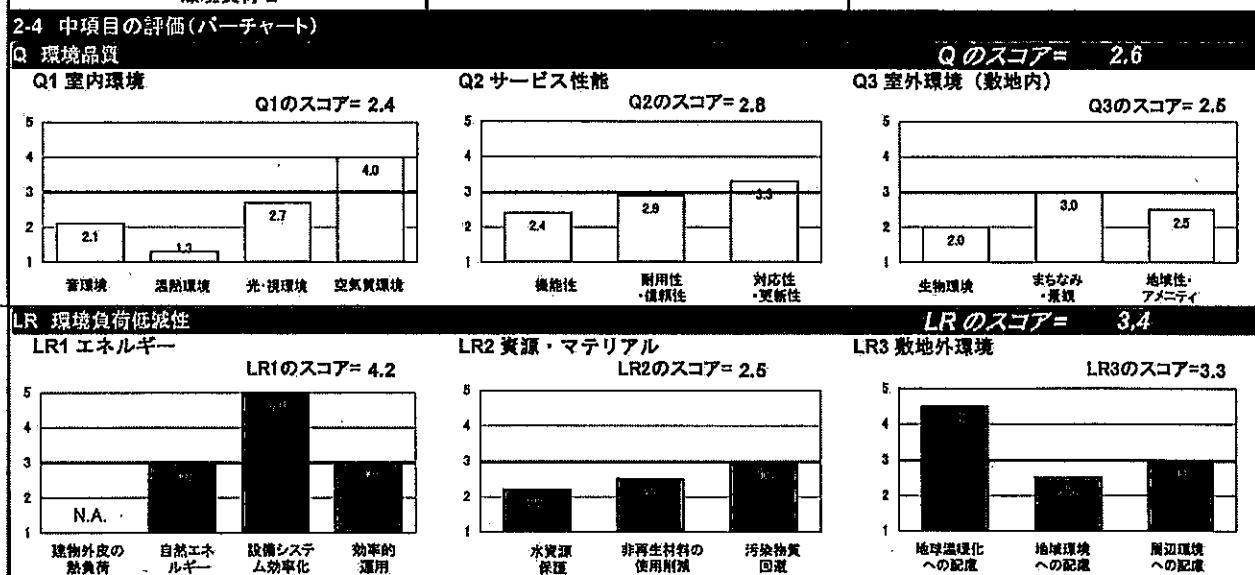


# CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジャトコ八木工場 完成出荷場増床	階数	地上1F
建設地	京都府南丹市八木町室樋山田10-1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	201年月日
敷地面積	200,702 m <sup>2</sup>	作成者	松本 政昭
建築面積	2,458 m <sup>2</sup>	確認日	201年月日
延床面積	2,458 m <sup>2</sup>	確認者	松本 政昭



3 設計上の配慮事項		
<b>Q1 室内環境</b> 室内の環境に配慮し、F★★★★を全面的に採用。		その他 特になし。
<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>	
室内空間は作業性を考慮した広さ及び高さを確保し、変化に対応したレイアウトができる空間としている。	施設の作業性等に配慮を行い、可能な限り緑地を設け、施設の環境の向上に努めている。	
<b>LR 環境負荷低減性</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーの利用を行っている。	人体への影響に配慮し、有害物質を含まない材料の選定を積極的に行う。	駐車場及び駐輪場を確保した上、適切に通路を配置し、交通負荷の低減を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: 建築物の環境品質、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい